

QUICK SHIP 10

2011年8月発行

この度の3月11日の東日本大震災におきまして、
被害にあわれた皆様には心よりお見舞い申し上げます

一緒に頑張ろう、
日本。

巻頭言

東北大震災について



社長近影／東松島でのボランティア活動にて

この大震災で商売に影響を受けた企業様は数多く、自動車業界にウエイトをおく弊社では、今回の震災はリーマンショック以来の打撃になりました。震災直後は無我夢中でしたが、2つの意識は突出していました。

1つ目は、仕事量も減り、悲しんでばかりもいられないこと。こういう時こそ、実際現地に入りボランティア活動をしていこうという声が社員から湧きあがり、被災地へ第七陣まで送り込むことになりました。

2つ目は、日本はサプライチェーンで重要な役割を担っていることを思い知らされたこと。弊社も自動車部品製造に携わる以上、お取引先様へ納期遅れや部品ストップなど迷惑はかけられません。研修生が海外に帰る中、少人数でも対応できる新体制を確立し、これを機に生産効率が上がりました。リーマンショックの教訓もありましたが、経営理念の1つ、思い立ったら直ぐ行動。初動の速さがモノを言う。上層部が旗を振り、社員が動くまでタイムラグが生じると、その間に、損失が発生します。弊社ではこの部分に危機意識を強く持って行動しています。その源

は社員の意識と理解。これからは若い時代がリーダーシップをとる時が来たと確信しました。

総評として、日本のあるべき姿について。特有の技術力、助け合い精神、冷静判断。日本は世界から尊敬される国であると、みんながそう思ったことでしょう。その国の1企業として、社会貢献できるのは誇りであります。これからも、その理念を失わず、一層努力を続けていきます。

ボランティア活動

4月23日(土)の第1陣(宮城県多賀城市)は、本社から3名、那須工場から2名の計5名で、主に家屋の泥出しを行いました。帰ってからの報告会で、被災地の復旧がまだまだ進んでいないこと、実際に作業をした家の人から、「あまり無理しないで下さい」と言った暖かい言葉をいただき、逆に元気をもらったことなど、自分達も実際に現地に行って活動したいという気持ちになりました。それが第2陣、2台のバスを貸切って総勢54名の団体で、東松島市へボランティア活動へ行くきっかけとなりました。



東松島でのボランティア活動メンバーで記念撮影



ノンハロゲン・脱塩ビチューブ

ECO-01 (エコワン) ソフト UL224取得

2011年7月、環境にやさしいECO-01に柔軟性をUPした「ECO-01(エコワン)ソフト」で、UL224を取得しました。

エコワンソフトは、薄肉によって柔軟性がUPしたことにより、狭い箇所での配線回しが容易になることから、更なる採用拡大が見込めます。



エコワンソフトの特徴

- ①従来品より肉厚を0.1mm薄くし、柔軟性・軽量化を実現
- ②内径サイズ φ30まで拡大
- ③透明を除くオールカラーが可能

ECO-01(エコワン)の採用実績例の一部

- ・車載用アンテナ(トヨタ) ・テレビ(シャープ) ・複合機(キヤノン)
- ・プリンター(NEC) ・業務用プロジェクター(パナソニック)
- ・業務用エアコン(パナソニック) ・サーマルプリンター(セイコーインスツル)

インドネシアに新工場建設

首都ジャカルタから70km地点のスルヤチプタ工業団地に、新工場を建設。来春稼働予定となりました。中国3拠点、ベトナム1拠点の次期5番目の工場として、ニッセイグループの中では最大規模の敷地面積17.076㎡を要し、チューブ2ライン、コルゲート3ライン、DIP2ライン・コーティング・コンパウンドを軸に自動車・二輪・家電業界へ事業を拡大します。



会社名 PT.NISSEIECO INDONESIA
 住所 Kawasan Industri Suryacipta,
 Jl.Surya Utama Kav.I-26 B4, Karawang
 お問い合わせ 0466-48-7572(代)
 担当者 浅野高志/稲村重成

那須工場の一部ライン、本社へ移動

弊社那須工場は、建物、設備等特に大きな被害はありませんでしたが、福島原発からの距離が100km圏内に入っていました。当初の非難区域は20km圏内でしたが、いつ何時広がるかわからないといった状況で、那須の設備を一部本社に移動することを決断しました。3月28日～30日に移動を完了させるという決意で早急に開始しました。物が生産できない、納期遅れは起こせないという強い思いが、会社全体に広がりました。



新工場へ移設された押出ライン

節電対策！ 15%削減に向けて

震災後、電力が不足、節電意識が高まる中、省経費委員会主導の下、“私たちが今できること『電気は少なめ、元気は多めで、営業しています』”をモットーに、各部署ごとに節電対策を打ち出し、省エネを実行しています。エアコンは扇風機に、蛍光灯は総量を半分に減らす等、さまざまな工夫から生み出された節電効果は、毎日の電気をチェックし、昨年と月別に対比することで、7月時点で約30%減という数字で実証されました。また、『電気は少なめ～』の文字を入れたポロシャツを購入し、仕事中に身に着けることによって、省エネ理念教育の充実を図っております。



左：節電意識UPのためのオリジナルポロシャツ

右：「絆」「復興」がテーマのオリジナルポロシャツ

電力使用量グラフにより毎日リアルタイムで節電効果を確認しています



納期遅れの危機回避 ～石川行脚～

震災が起きてすぐに東北6県と北海道、茨城県の一部への出荷が停止となりました。また、集荷においても個数の制限が発表されました。

ガソリン不足の影響も重なって、いつ正常通りに戻るかわからない状況で弊社が取った行動は、自分たちで何とかすることです。自社の3tトラックにコルゲート大箱を積み、一番遠距離で石川県小松市に製品を届けました。

出来ることは何でもやる、思い立ったらすぐ行動の精神で、納期を出来る限り守る努力をしました。



材料入手困難から、材料費高騰へ！

震災で被害を受けた材料メーカーも多く、一時材料の入手が滞る事態が発生しました。又、春頃から各種材料が一律値上げとなりました。本来であれば、その分製品単価に反映させたいところですが、成形速度のUP、効率化などの改善を行いながら、安易に値上げをしない対応をとっています。

期限限定で製品を作ってほしいという数十社からの問い合わせがありました。それにより材料が不足し、既存の取引先への供給不足に陥らないかという不安もありましたが、困った時はお互い様の「助け合い精神」で気持ちよく引き受けました。

今後も材料供給の状況を逐一監視していかねばなりません。



材料のコンテナ積みは、朝7時から社員みんなで行います。重労働ですが、お互いを思いやり、コミュニケーションが取れます。